



航空機操縦士養成連絡協議会

各ワーキンググループとりまとめ概要
(令和2・3・4年度)

技量向上ワーキンググループ

具体的な検討・取組み内容

■ JALの「言語技術」の取組み紹介

- ・ 訓練生・学生のコミュニケーション能力向上に資する取り組みとして、エアライン（JAL社）における「言語技術」教育を参加養成機関・大学の訓練生・学生へと対象を展開。

■ 外部講師による訓練機関等を対象とした講演会の検討

- ・ コミュニケーションスキルやモチベーションなどのノンテクニカルな技量を向上させるべく、外部より行使を招いての講習会の開催に向けた検討を実施。

■ 操縦教育証明に係る実態調査のアンケート実施

- ・ 各養成機関・大学・エアラインを対象に操縦教育証明の運用に関する実態調査のアンケートを実施し、結果を共有。
- ・ 共有した結果を踏まえ、協議会内で今後の操縦教育証明の在り方に関する意見を募集。

今後の検討課題・取組み等

■ 外部講師による訓練期間等を対象とした講演会の実施

- ・ 訓練機関等を対象とした講演会を開催。

■ 教官不足への対応策の検討

- ・ 教育証明制度の実態を踏まえた対策の検討。

裾野拡大ワーキンググループ

具体的な検討・取組み内容

■ 女性操縦士・女性整備士・女性製造技術者の増加に向けた取組

- ・ 現役の女性操縦士・女性整備士・女性製造技術者による講演会を開催。
(令和2年度中止、令和3年度オンライン、令和4年度対面)

■ 航空機産業人材確保に関する取組み

- ・ 経済産業省（中部経済産業局）において、高等専門学校を学生を対象に国際的商談会の見学を開催し、若年層に対する航空機産業の仕事への理解の促進を図るとともに、航空機関連企業等による人材確保に係る支援を行った。（令和3年度）
- ・ あいち・なごやエアロスペースコンソーシアムでは、社会人向け航空宇宙産業製造人材育成講座（オンデマンド）を行い、即戦力となるための知識の定着を図った。加えて、高校生・大学生・専門学校生等向けの教育プログラムも実施し、航空宇宙産業の仕事に対する興味・関心を醸成した。
(令和2～4年度)

■ その他裾野拡大に関する取組

- ・ 全国工業高等学校長協会主催で実施している教員に向けた夏季講習会で航空に関する講座を開催
(整備士およびグランドハンドリング 令和4年度15講座開催し88名の参加)
- ・ 子ども霞が関見学デーへの協力
 - － 現役操縦士等によるお仕事紹介、日本航空学園によるフライトシュミレーター体験 等
- ・ 各航空会社・各団体における取組み（航空教室の実施、工場見学等）

今後の検討課題・取組み等

- 「女性航空教室」、「夏季講習会」、「子ども霞が関見学デー」、その他講演会等のイベントについては、積極的に引き続き計画・実行していく。
- 航空機産業人材確保については、これまで高専生に対して専門技術者による講義等を実施し一定の成果が出たことから、引き続き、大学、高専、専門学校と連携した学生向け取組みを検討していく。